

(参考資料)

Nーバスに関する利用者アンケート

単純集計結果

## アンケートの実施概要

### 1 調査目的

長久手市地域公共交通計画（令和6年3月策定）にある基本方針「地域共創による地域交通ネットワークの確保・維持・改善」に関し、計画事業「地域特性に合った補助交通の確保」にかかるNーバスの再編（路線見直し）に向けた、利用者のニーズ把握を目的とする。

### 2 調査対象

平日及び休日各1日のNーバス利用者全員（平日・休日で各1票まで）

### 3 調査方法

- (1) 車内で調査票入り封筒を手渡しで配布
- (2) 郵送及びWebでの回収

### 4 調査時期

- (1) 令和7年12月 5日（金）及び7日（日）配布
- (2) 令和7年12月19日（金）回収締切

### 5 配布数及び回収結果

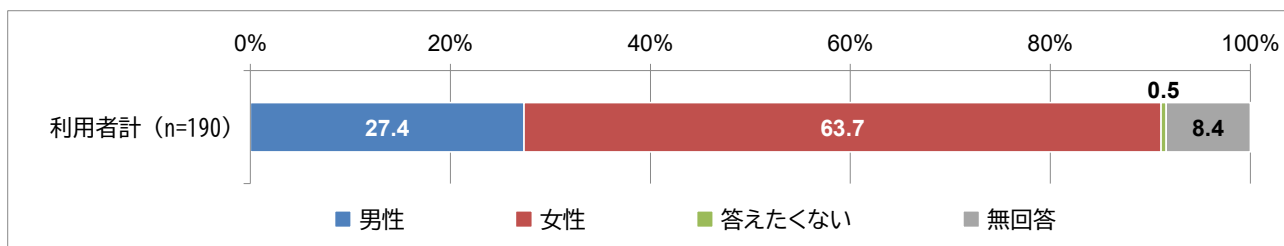
- (1) 配布数 374
- (2) 回答数 190
- (3) 回収率 50.8%

## 集計結果

### 問1 ①性別

■ 「女性」が63.7%で「男性」の27.4%を上回っている。

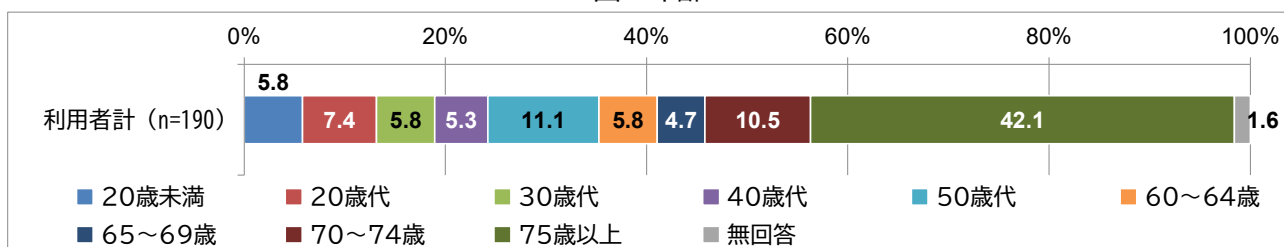
図 性別



### 問1 ②年齢

■ 「75歳以上」が42.1%と最も高く、次いで「50歳代」「70～74歳」の順に割合が高い。

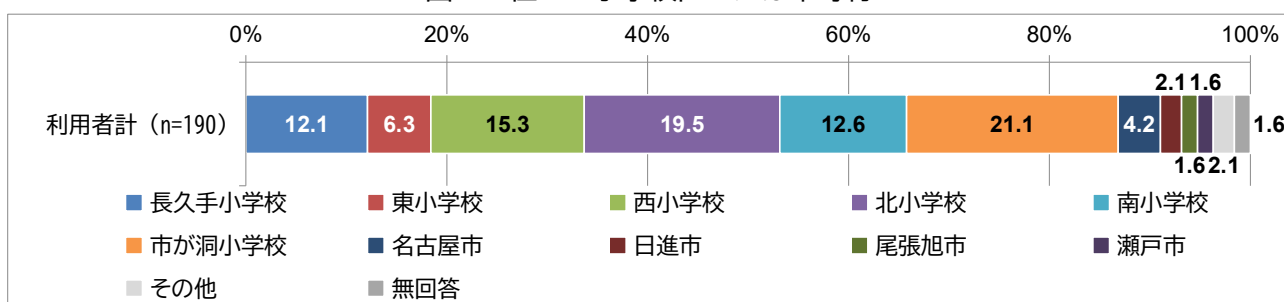
図 年齢



### 問1 ③居住小学校区または市町村

■ 「市が洞小学校」が21.1%と最も高く、次いで「北小学校」「西小学校」の順に割合が高い。

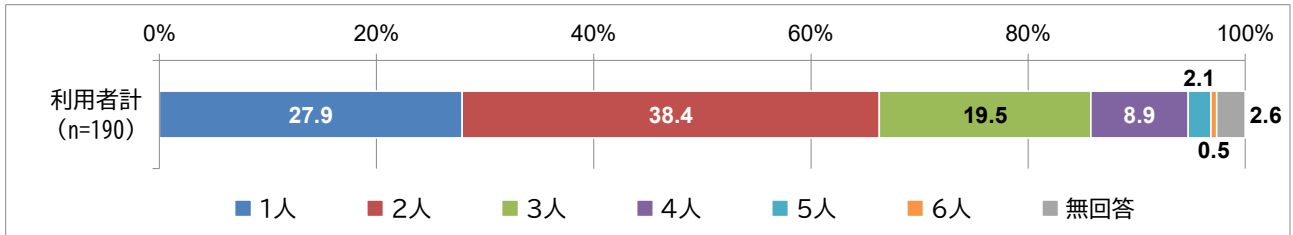
図 お住いの小学校区または市町村



問1 ④世帯構成人数

■ 「2人」が38.4%と最も高く、次いで「1人」「3人」の順に割合が高い。

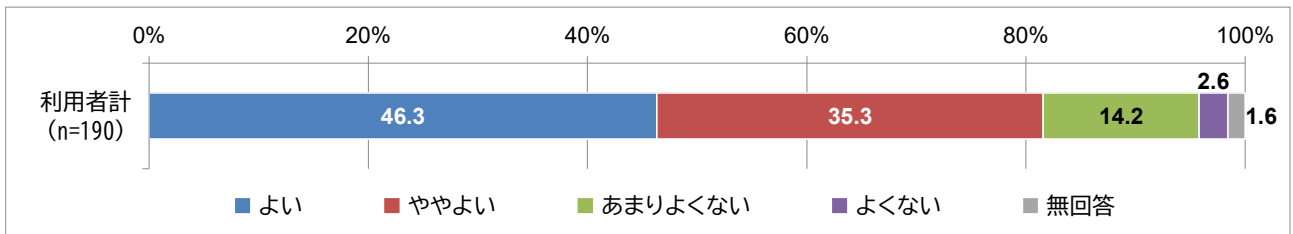
図 世帯の構成人数



問1 ⑤健康状態

■ 「よい」が46.3%と最も高く、次いで「ややよい」「あまりよくない」の順に割合が高い。

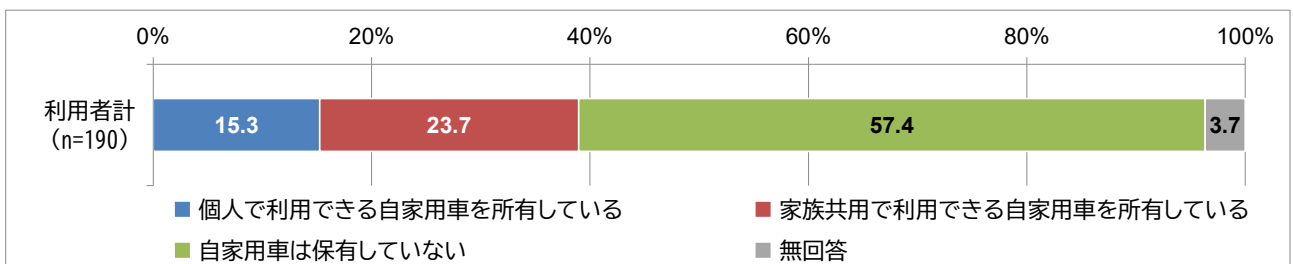
図 日常生活を送る上での最新の健康状態



問1 ⑥自家用車の保有状況

■ 「自家用車は保有していない」が57.4%と最も高く、次いで「家族共有で利用できる自家用車がある」の割合が高い。

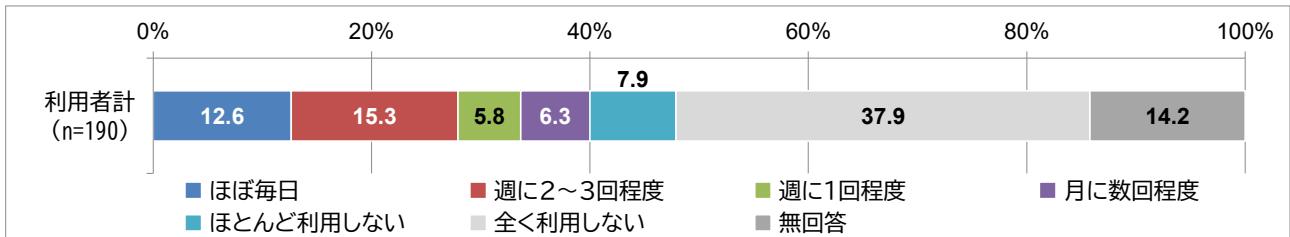
図 自家用車の保有状況



問1 ⑦ 自家用車の利用頻度

■ 「全く利用しない」が37.9%と最も高く、次いで「週に2～3回程度」「ほぼ毎日」の順に割合が高い。

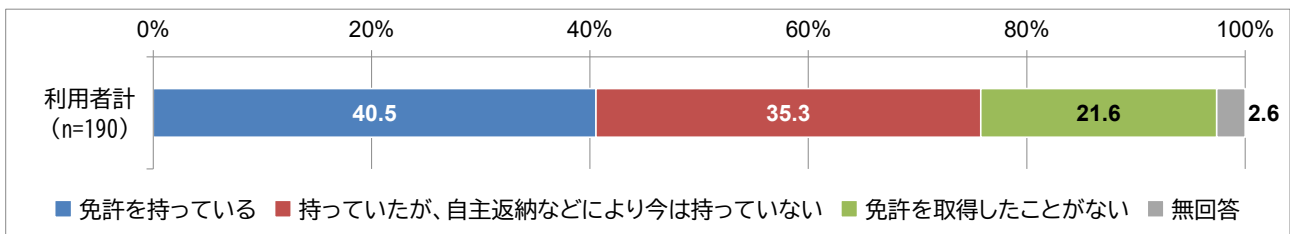
図 自家用車の利用頻度



問1 ⑧ 運転免許の有無

■ 「免許を持っている」が40.5%と最も高く、次いで「持っていたが、自主返納などにより今は持っていない」の割合が高い。

図 運転免許の有無

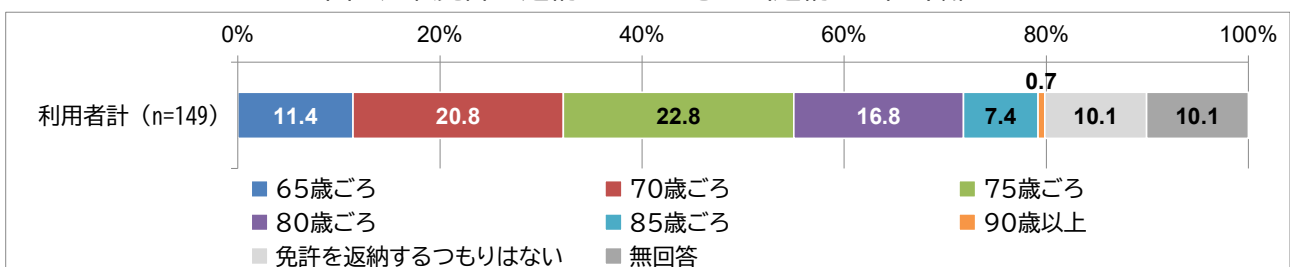


問1 ⑨ 運転免許の返納年齢

※⑧で「免許を取得したことがない」以外の回答をした方のみ

■ 「75歳ごろ」が22.8%と最も高く、次いで「70歳ごろ」「80歳ごろ」の順に割合が高い。

図 運転免許を返納しようと思う（返納した）年齢

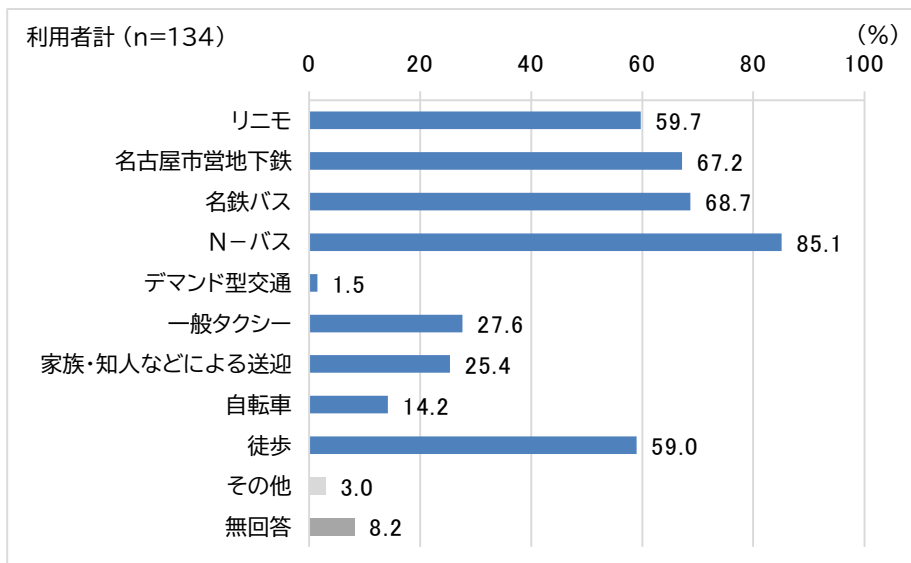


問1 ⑩運転免許返納後の交通手段 ※複数回答

※⑨で「免許を返納するつもりはない」以外の回答をした方のみ

■「Nーバス」が85.1%と最も高く、次いで「名鉄バス」「名古屋市営地下鉄」の順に割合が高い。

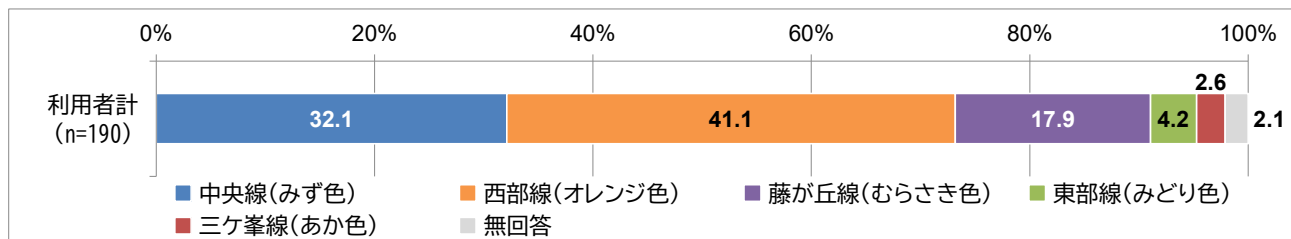
図 運転免許返納後に利用したい（利用している）主な交通手段



問2 ①調査票を受け取った路線

■「西部線」が41.1%と最も高く、次いで「中央線」「藤が丘線」の順に割合が高い。

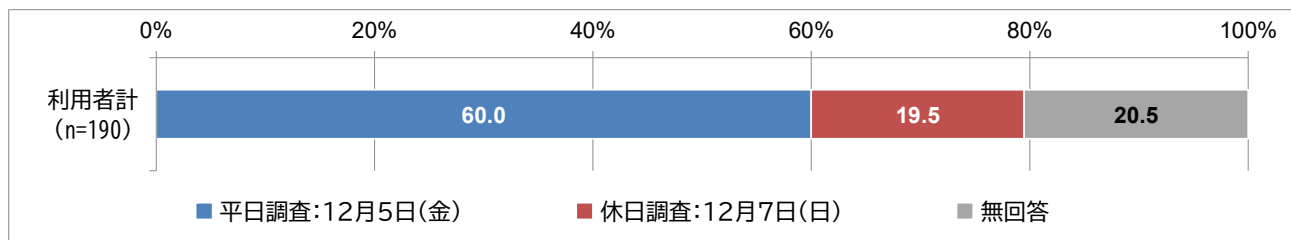
図 調査票を受け取った路線



問3 ①調査票を受け取った日

■「平日調査」が60.0%で「休日調査」の19.5%を上回っている。

図 調査票を受け取った日

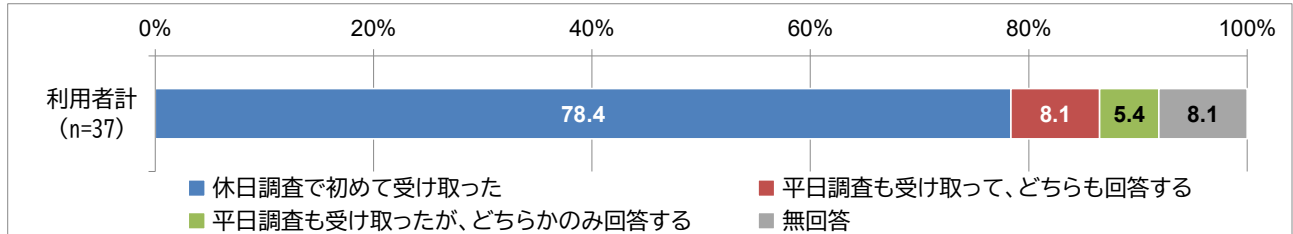


### 問3②調査票を受け取った回数

※①で「休日調査」と回答した方のみ

■「休日調査で初めて受け取った」が78.4%と最も高く、次いで「平日調査も受け取って、どちらも回答する」の割合が高い。

図 調査票を受け取ったのは2通目か



問4 乗降バス停

- 乗車バス停では、「戸田谷」が14人と最も多く、次いで「市役所」と「蟹原」の利用者が多い。
- 降車バス停では、「愛知医大」が21人と最も多く、次いで「長久手古戦場駅」「戸田谷」の順に利用者が多い。

図 乗車バス停

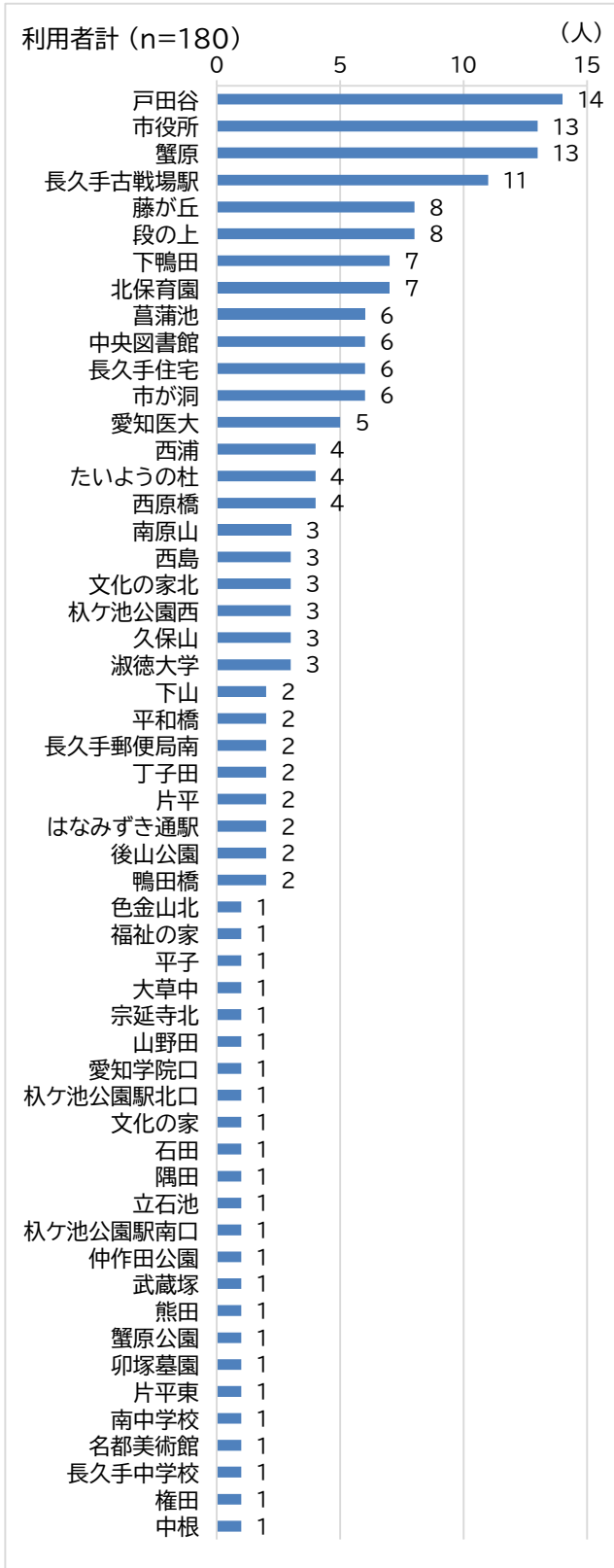
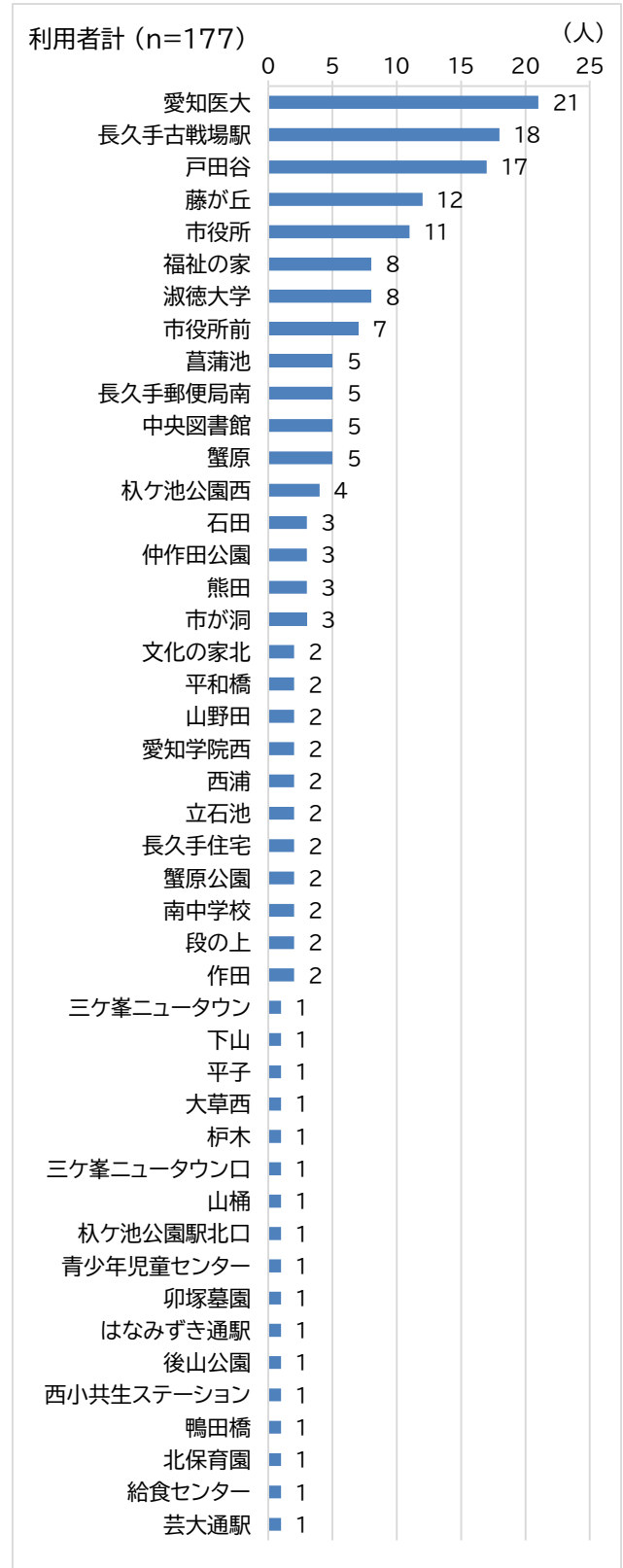


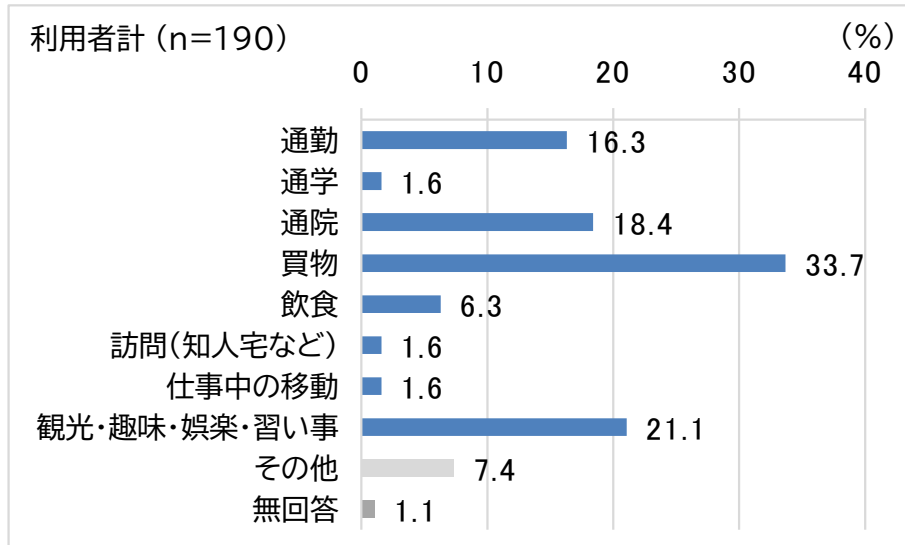
図 降車バス停



問5利用目的 ※複数回答

■「買物」が33.7%で最も高く、次いで「観光・趣味・娯楽・習い事」「通院」の順に割合が高い。

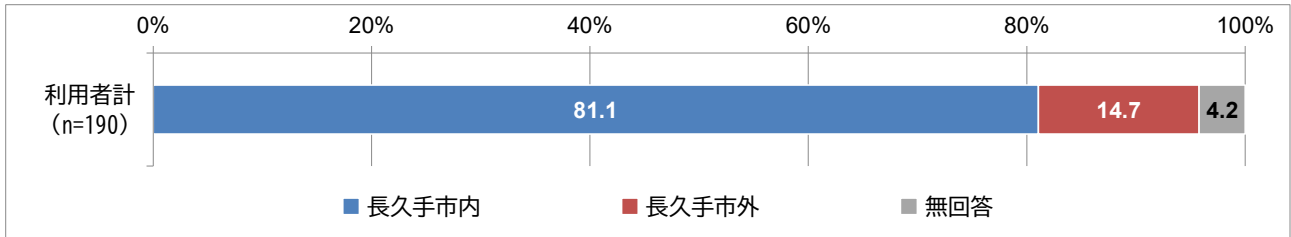
図 利用目的



問6 最終目的地

■ 「長久手市内」が81.1%で「長久手市外」の14.7%を上回っている。

図 最終目的地



最終目的地【市内】

アピタ長久手店	18	V・Drug他	1	井堀 自宅	1
愛知医科大学病院	16	市の公民館	1	市が洞小学校 自宅	1
イオンモール長久手	14	西公民館	1	氏神前	1
福祉の家	6	名進研長久手校	1	長配一丁目	1
愛知淑徳大学	5	長久手西小学校区の自宅	1	大草西	1
長久手市役所	5	山野田住宅	1	蟹原、自宅	1
中央図書館	3	愛知県立大学	1	岩作三ヶ峯	1
自宅	3	根の神・自宅	1	野田農	1
おおた整形外科	2	自宅へ	1	岩作組合前	1
東名病院	2	長久手クリニック	1	西小学校区 自宅	1
ピアゴパワー長久手南店	2	長久手市長配	1	市が洞2丁目	1
N-ハウスあい	2	南近隣センター	1	下山	1
岩作下島	1	朝日が丘整形外科	1	作田二丁目	1
愛知学院西	1	蟹原 自宅	1	岩作早稲田	1
色山北	1	ベストライフ	1	長配	1
真行田 自宅	1	シルバー人材センター	1	● 自宅	1
段の上の自宅	1	カネスエ(食品)	1	あぐりん村 ござらっせ	1
カフェフラワー	1	長久手耳鼻科	1	花しょうぶの湯	1
給食センター	1	●所	1	段の上	1
kuniデンタルクリニック	1	岩作西島16-2	1	病院	1
長久手図書館	1	二宮外科	1		

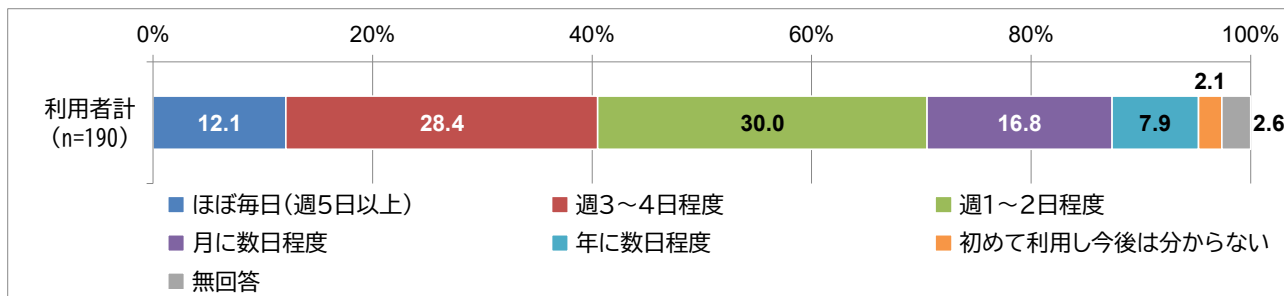
最終目的地【市外】

名古屋市	19	日進市	3	瀬戸市	3	尾張旭市	3
------	----	-----	---	-----	---	------	---

### 問7利用頻度

■「週1～2日程度」が30.0%と最も高く、次いで「週3～4日程度」「月に数日程度」の順に割合が高い。

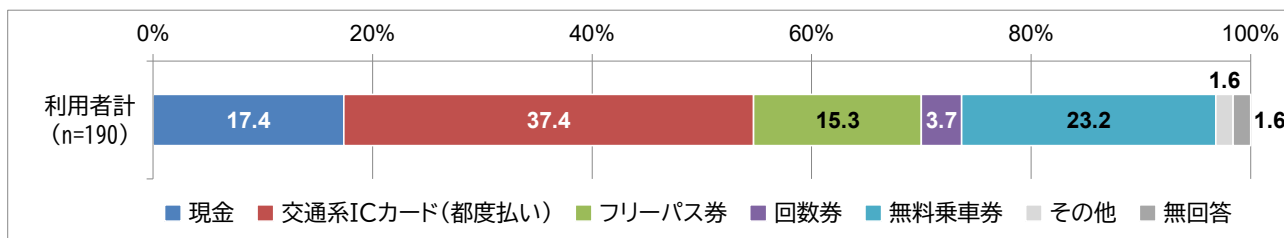
図 どのくらい利用するか



### 問8支払方法

■「交通系ICカード(都度払い)」が37.4%で最も高く、次いで「無料乗車券」「現金」の順に割合が高い。

図 利用した支払方法



問9 乗車前の移動手段 ※複数回答

問10 降車後の移動手段 ※複数回答

■乗車前の移動手段では、「徒歩」が82.6%と最も高く、次いで「名古屋市営地下鉄東山線」と「名鉄バス」の割合が高い。

■降車後の移動手段では、「徒歩」が87.9%と最も高く、次いで「名古屋市営地下鉄東山線」「リニモ」と「名鉄バス」と「Nーバス西部線」の順に割合が高い。

図 乗車する前に利用していた移動手段

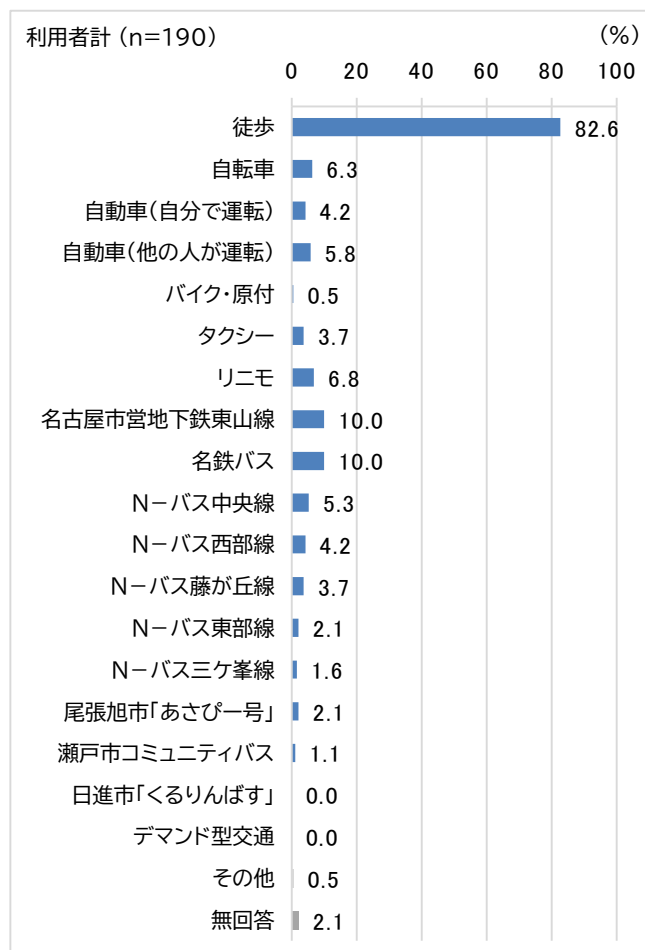


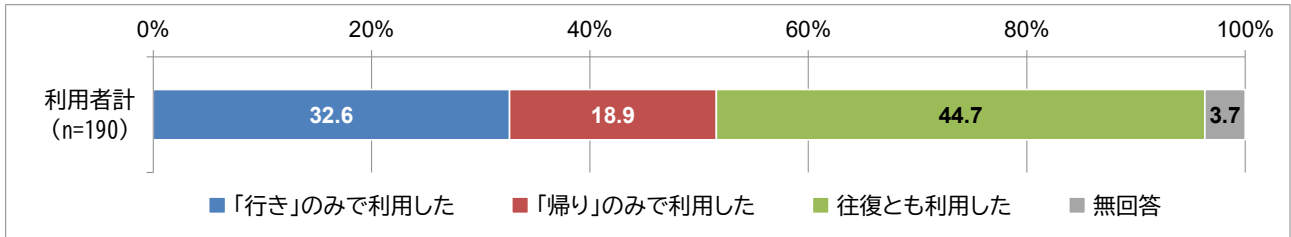
図 降車した後に利用した移動手段



問 11 往復利用の有無

■ 「往復とも利用した」が44.7%で最も高く、次いで「行き」のみで利用した」の割合が高い。

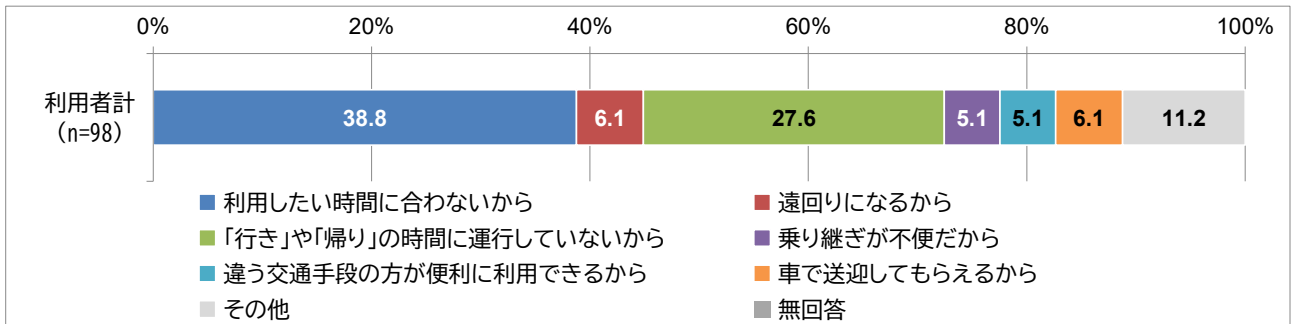
図 往復で利用したか



問 11 片道利用の理由

■ 「利用したい時間に間に合わないから」が38.8%で最も高く、次いで「行き」や「帰り」の時間に運行していないから」「遠回りになるから」と「車で送迎してもらえるから」の順に割合が高い。

図 「行き」または「帰り」のみで利用した理由

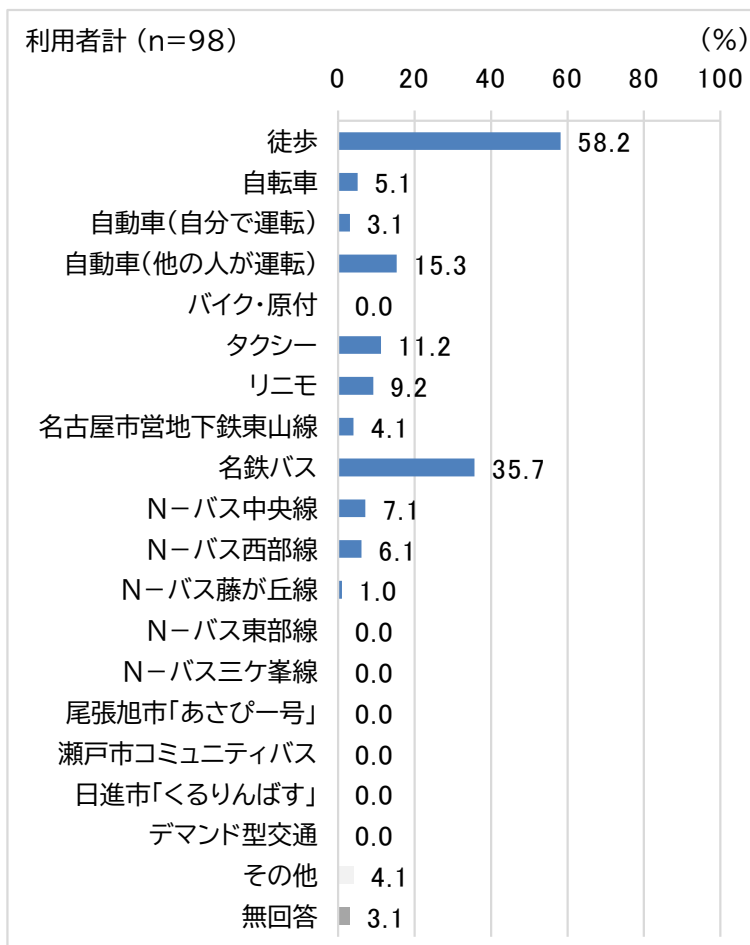


問 12 片道利用の交通手段 ※複数回答

※⑤で「往復で利用」以外の回答をした方のみ

■ 「徒歩」が58.2%で最も高く、次いで「名鉄バス」「自動車(他の人が運転)」の順に割合が高い。

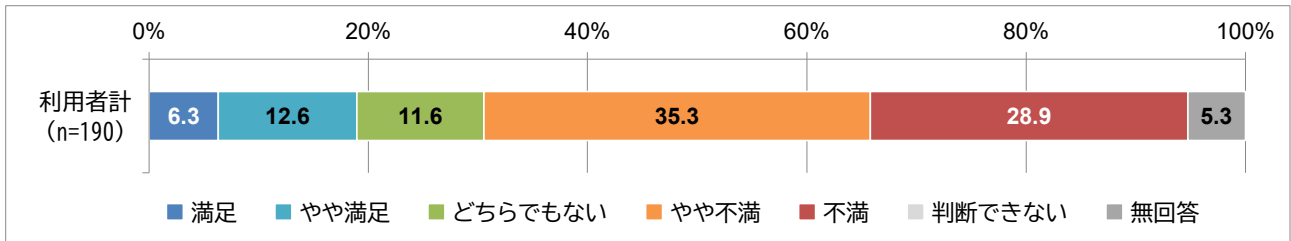
図 「行き」または「帰り」のみで利用した場合の代わりの交通手段



問 14 満足度

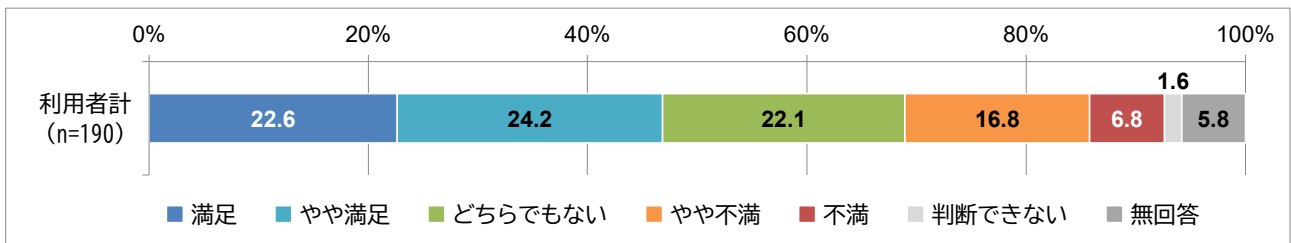
■満足度（「満足」＋「やや満足」）は18.9%となっていて、不満割合（「不満」＋「やや不満」）の64.2%を下回っている。

図 ①「運行本数」の満足度



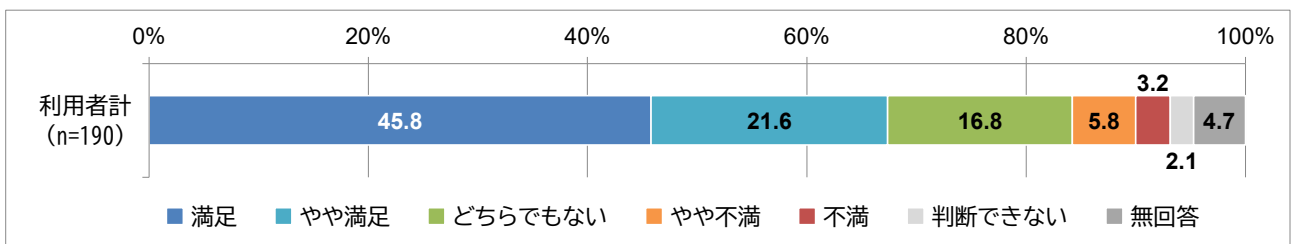
■満足度（「満足」＋「やや満足」）は46.8%となっていて、不満割合（「不満」＋「やや不満」）の23.6%を上回っている。

図 ②「運行経路」の満足度



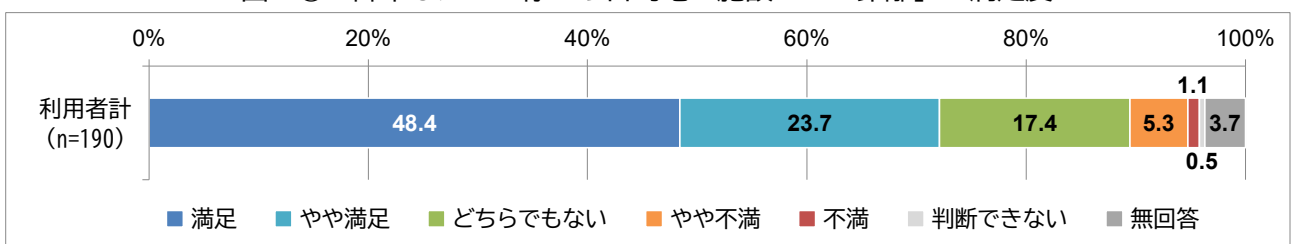
■満足度（「満足」＋「やや満足」）は67.4%となっていて、不満割合（「不満」＋「やや不満」）の9.0%を上回っている。

図 ③「自宅からバス停までの距離」の満足度



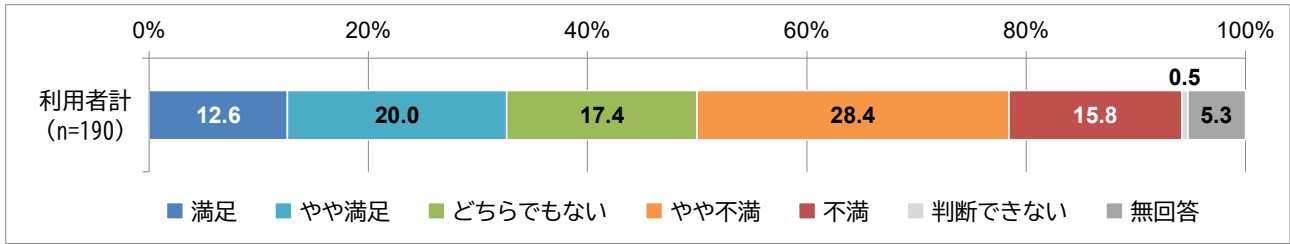
■満足度（「満足」＋「やや満足」）は72.1%となっていて、不満割合（「不満」＋「やや不満」）の6.4%を上回っている。

図 ④「降車したバス停から目的地・施設までの距離」の満足度



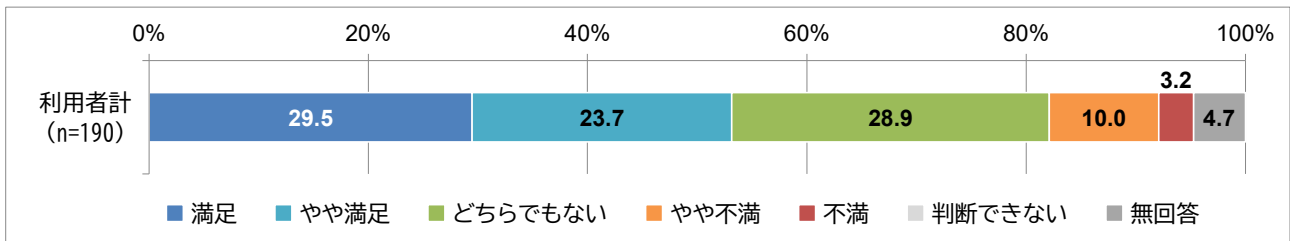
■満足度（「満足」＋「やや満足」）は32.6%となっていて、不満割合（「不満」＋「やや不満」）の44.2%を下回っている。

図 ⑤ 「バスが運行している時間帯」の満足度



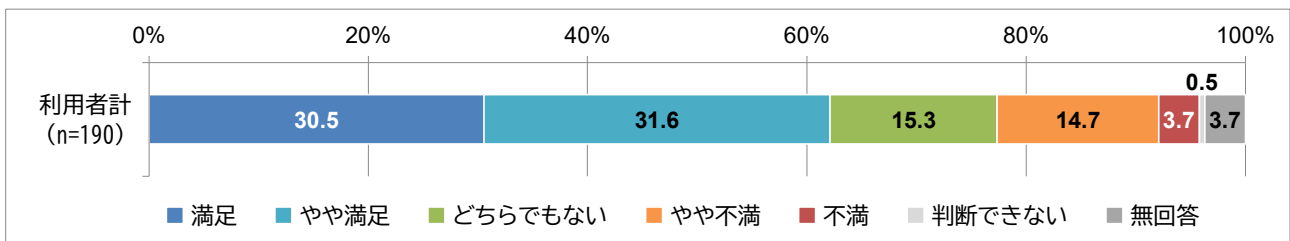
■満足度（「満足」＋「やや満足」）は53.2%となっていて、不満割合（「不満」＋「やや不満」）の13.2%を上回っている。

図 ⑥ 「目的地までの所要時間」の満足度



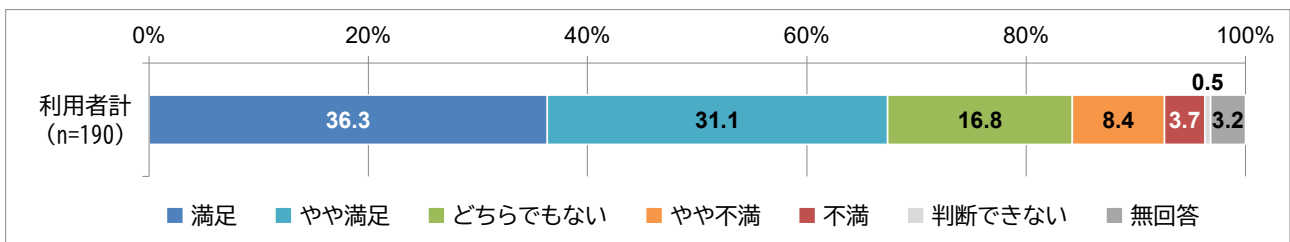
■満足度（「満足」＋「やや満足」）は62.1%となっていて、不満割合（「不満」＋「やや不満」）の18.4%を上回っている。

図 ⑦ 「バスが時刻表どおりに発着すること」の満足度



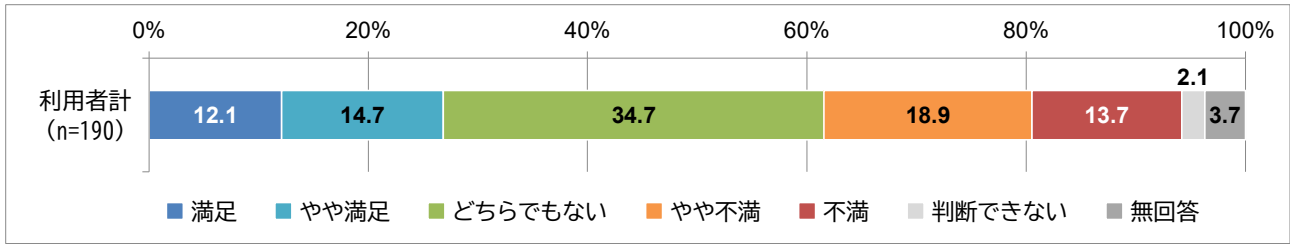
■満足度（「満足」＋「やや満足」）は67.4%となっていて、不満割合（「不満」＋「やや不満」）の12.1%を上回っている。

図 ⑧ 「バス停での行先案内や時刻表の見やすさ」の満足度



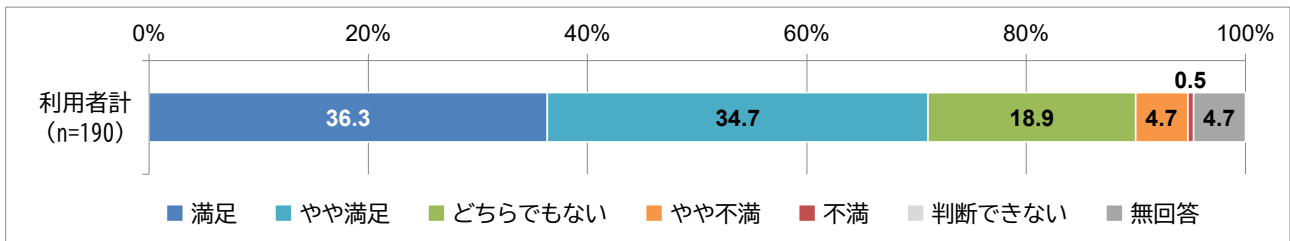
■満足度（「満足」＋「やや満足」）は26.8%となっていて、不満割合（「不満」＋「やや不満」）の32.6%を下回っている。

図 ⑨ 「バス停の待合環境（上屋やベンチなど）」の満足度



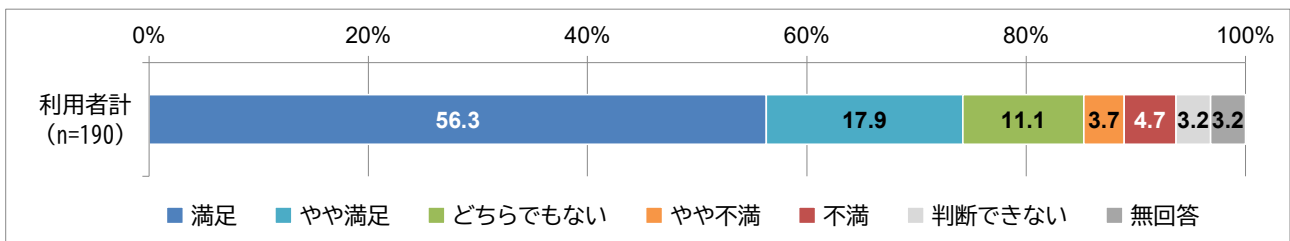
■満足度（「満足」＋「やや満足」）は71.0%となっていて、不満割合（「不満」＋「やや不満」）の5.2%を上回っている。

図 ⑩ 「バスの乗り降りのしやすさ」の満足度



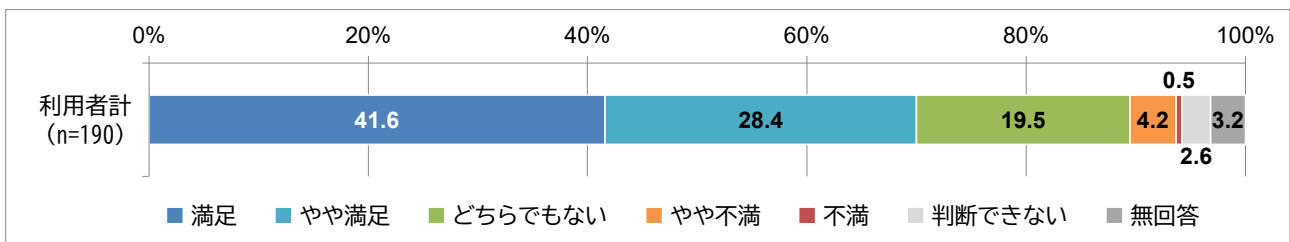
■満足度（「満足」＋「やや満足」）は74.2%となっていて、不満割合（「不満」＋「やや不満」）の8.4%を上回っている。

図 ⑪ 「バスの運賃」の満足度



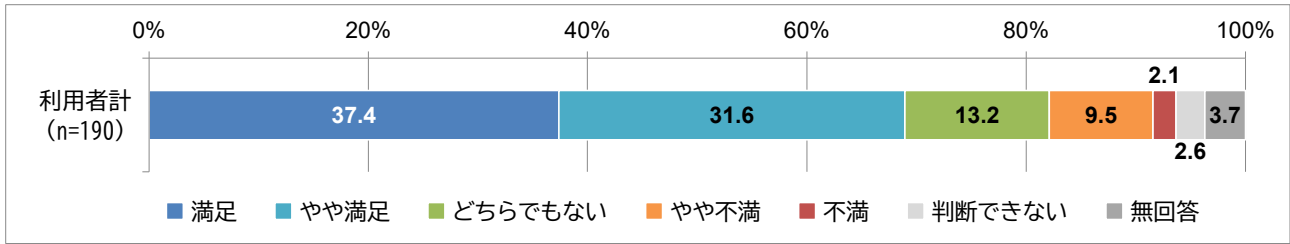
■満足度（「満足」＋「やや満足」）は70.0%となっていて、不満割合（「不満」＋「やや不満」）の4.7%を上回っている。

図 ⑫ 「車内における案内表示のわかりやすさ」の満足度



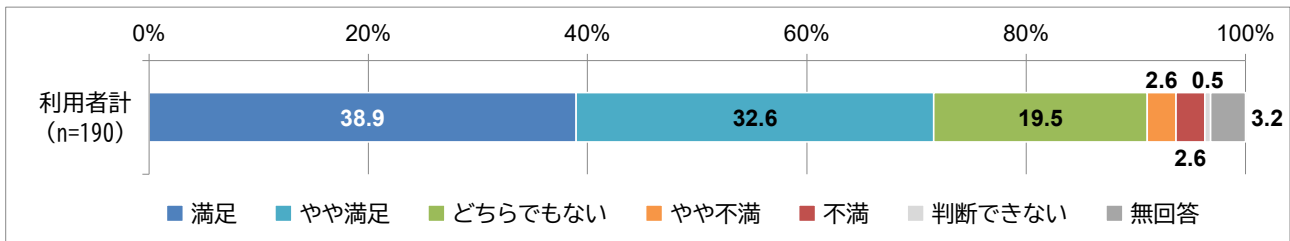
■満足度（「満足」＋「やや満足」）は69.0%となっていて、不満割合（「不満」＋「やや不満」）の11.6%を上回っている。

図 ⑬ 「手持ちの路線図や時刻表の見やすさ」の満足度



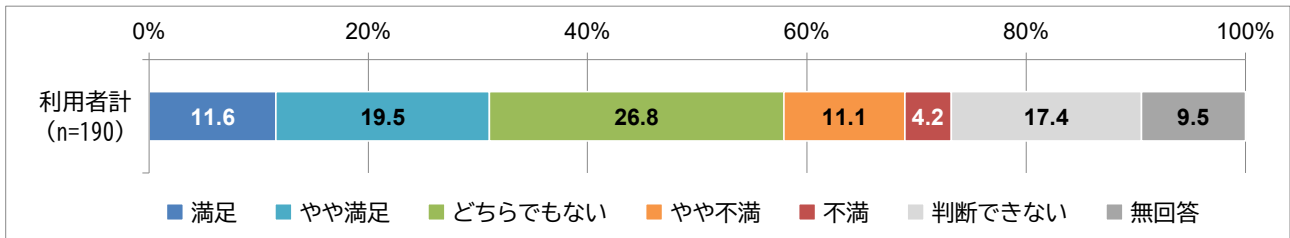
■満足度（「満足」＋「やや満足」）は71.5%となっていて、不満割合（「不満」＋「やや不満」）の5.2%を上回っている。

図 ⑭ 「バスの運転の様子や運転手の対応」の満足度



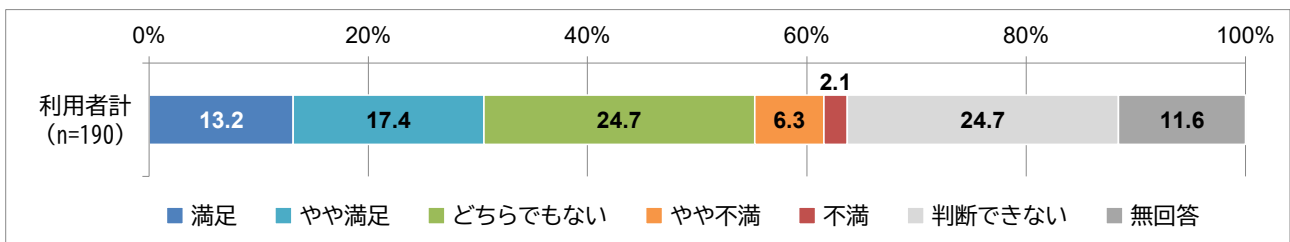
■満足度（「満足」＋「やや満足」）は31.1%となっていて、不満割合（「不満」＋「やや不満」）の15.3%を上回っている。

図 ⑮ 「乗り継ぎ情報や案内のわかりやすさ」の満足度



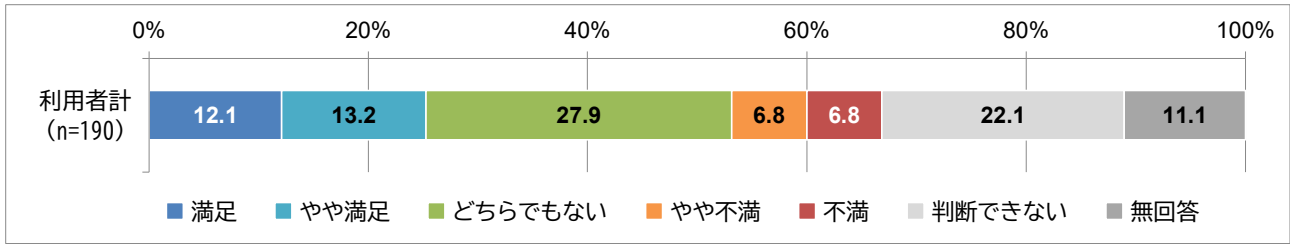
■満足度（「満足」＋「やや満足」）は30.6%となっていて、不満割合（「不満」＋「やや不満」）の84.1%を上回っています。

図 ⑯ 「乗り継ぎをする際の移動手段」の満足度



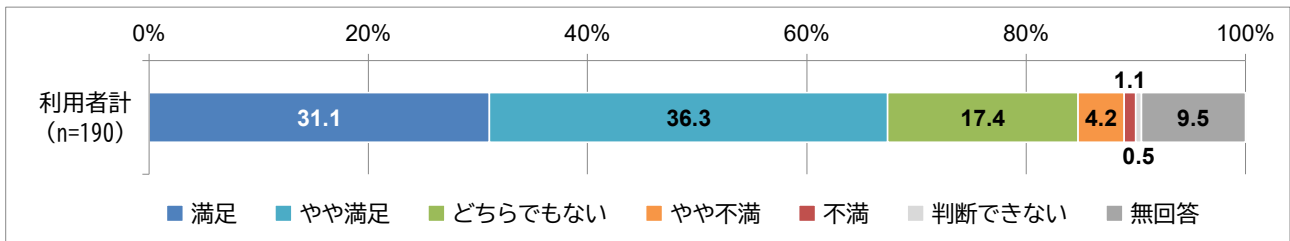
■満足度（「満足」＋「やや満足」）は25.3%となっていて、不満割合（「不満」＋「やや不満」）の13.6%を上回っている。

図 ⑰「乗り継ぐバス停の待合環境」の満足度



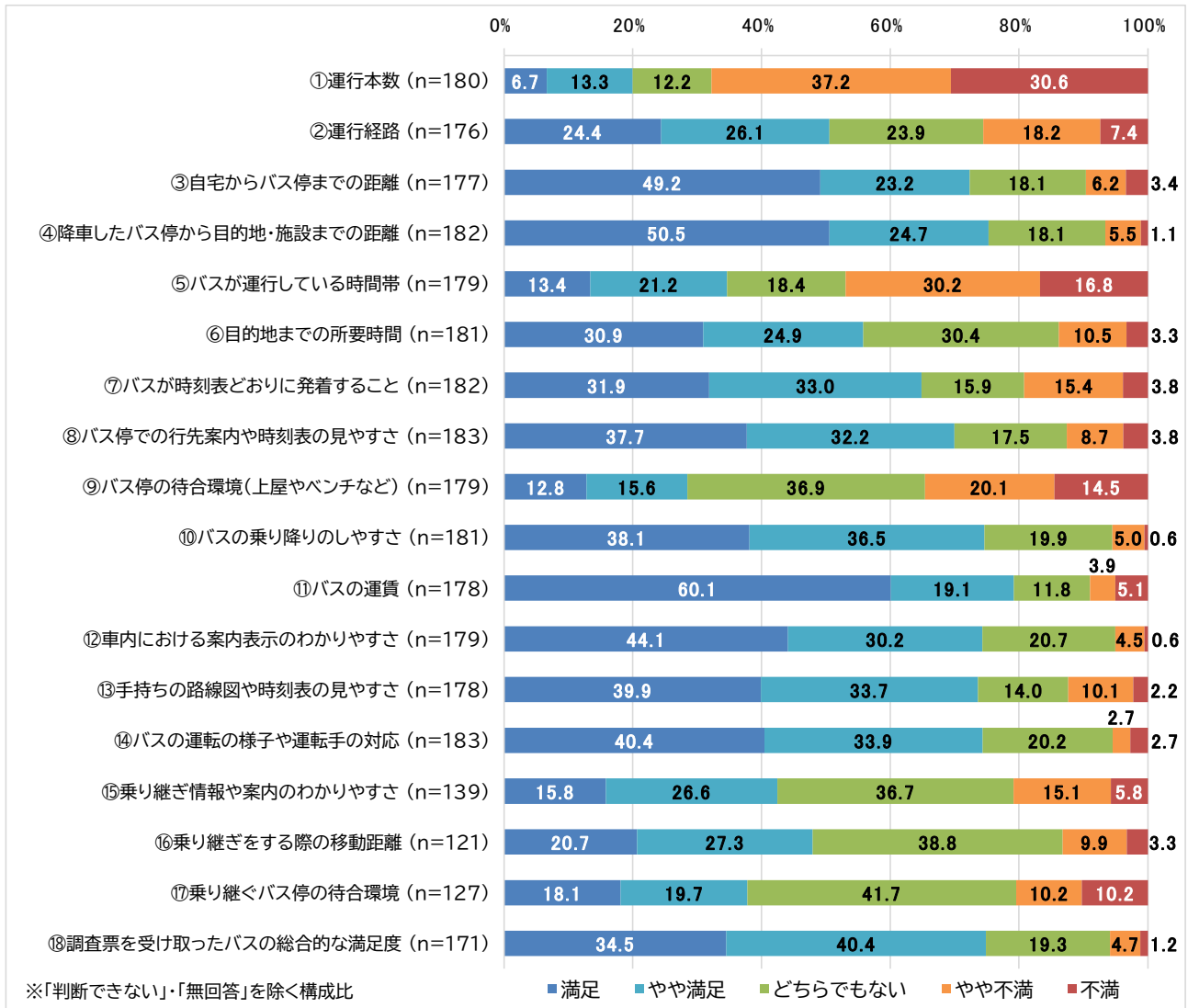
■満足度（「満足」＋「やや満足」）は67.4%となっていて、不満割合（「不満」＋「やや不満」）の5.3%を上回っている。

図 ⑱調査票を受け取ったバスの総合的な満足度



- ⑩調査票を受け取ったバスの総合的な満足度（「満足」＋「やや満足」）は74.9%となっていて、不満割合（「不満」＋「やや不満」）の5.9%を上回っている。
- 満足度は、「⑪バスの運賃」が79.2%と最も高く、次いで「④降車したバス停から目的地・施設までの距離」「⑫車内における案内表示のわかりやすさ」の順となっている。
- 不満割合は、「①運行本数」が67.8%と最も高く、次いで「⑤バスが運行している時間帯」「⑨バス停の待合環境（上屋やベンチなど）」の順となっている。

図 項目別満足度

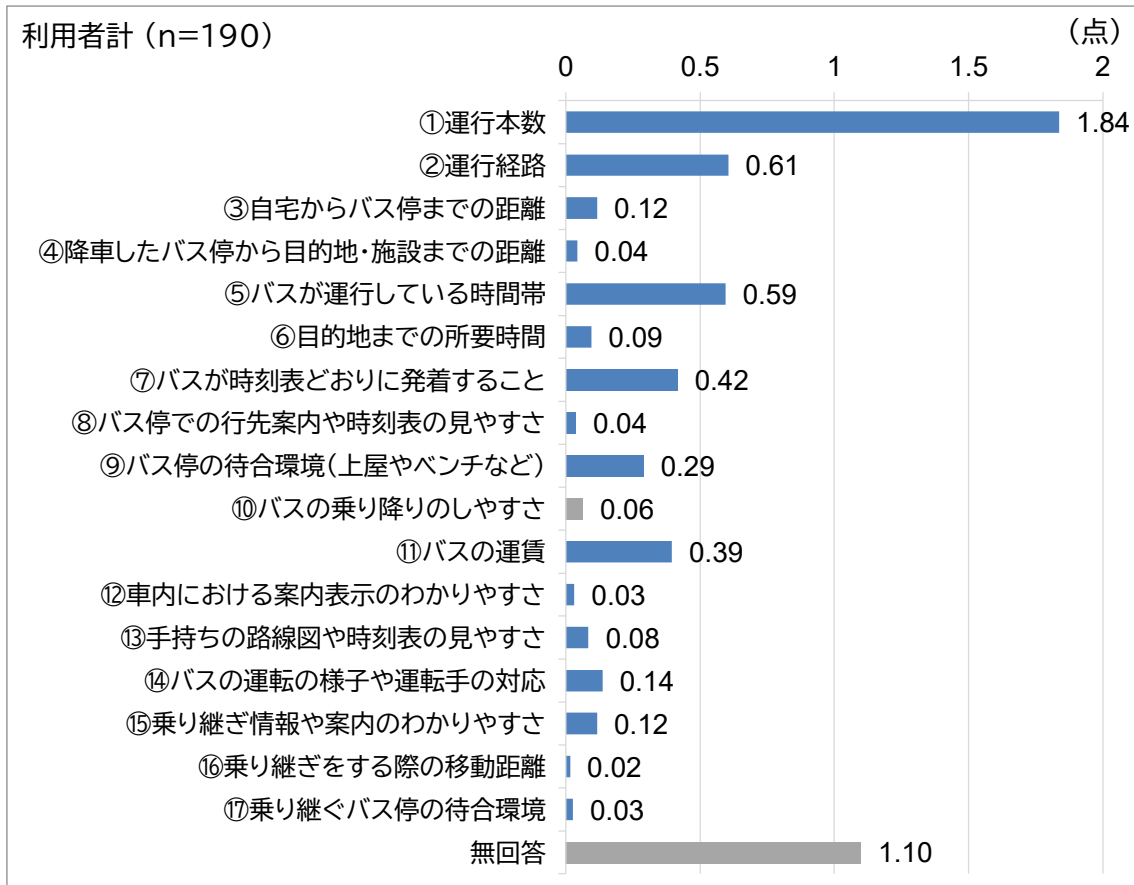


問 17 重要項目

※1位に3点、2位に2点、3位に1点を加算して集計

■ 「①運行本数」が1.84点で最も高く、次いで「②運行経路」「⑤バスが運行している時間帯」の順に点数が高い。

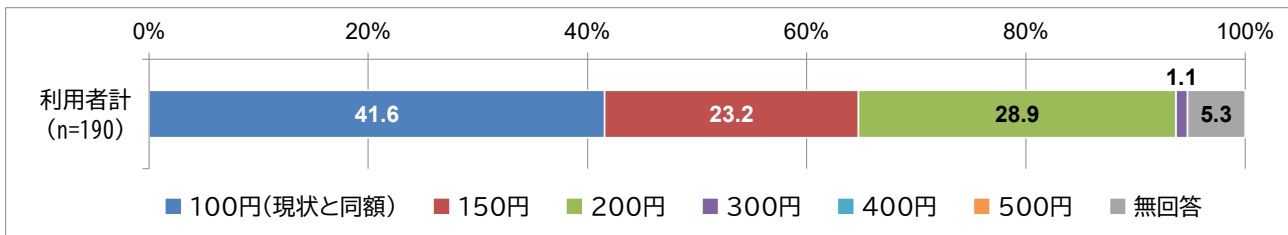
図 重要度



問 16N－バスの運賃の許容額

■「100円(現状と同額)」が41.6%と最も高く、次いで「200円」「150円」の順に割合が高い。

図 N－バスの運賃を上げなければならない場合の許容額

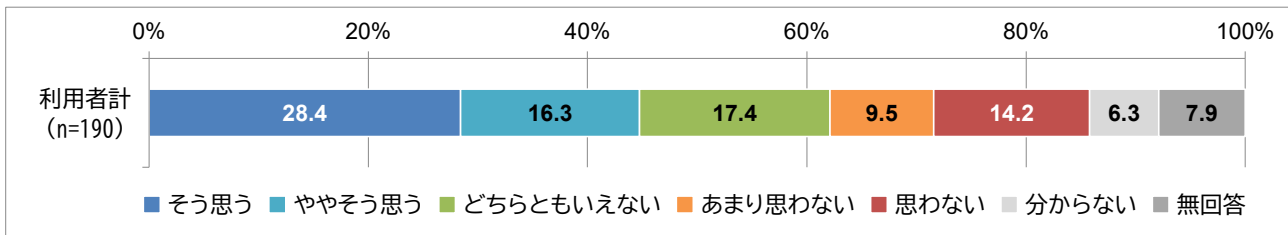


問 17「長久手市内のバス路線網のあり方」や「N－バスの運行ルートのお考え方」について

①リニモや名鉄バスが市内公共交通の軸となる運行を担い、N－バスは補完的な公共交通として、ルートやバス停を設定する方がよい

■賛成割合（「そう思う」＋「ややそう思う」）は44.7%となっていて、反対割合（「あまり思わない」＋「思わない」）の23.7%を上回っている。

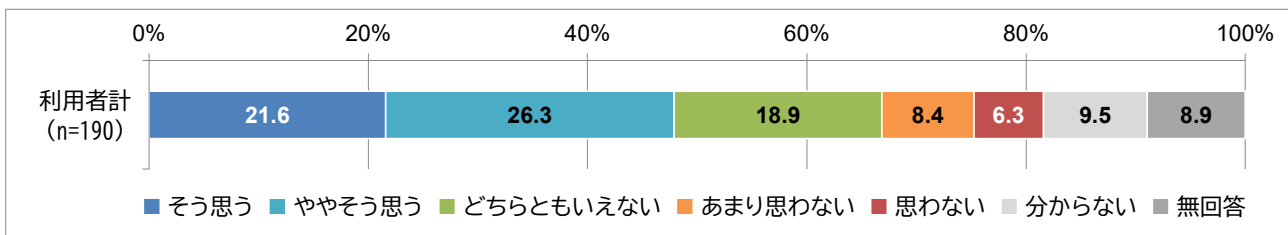
図 ①



②利用者が多い地域はN－バスを運行し、利用者が少ない地域はN－バスの代わりにデマンド型の公共交通を運行する方がよい

■賛成割合（「そう思う」＋「ややそう思う」）は47.9%となっていて、反対割合（「あまり思わない」＋「思わない」）の14.7%を上回っている。

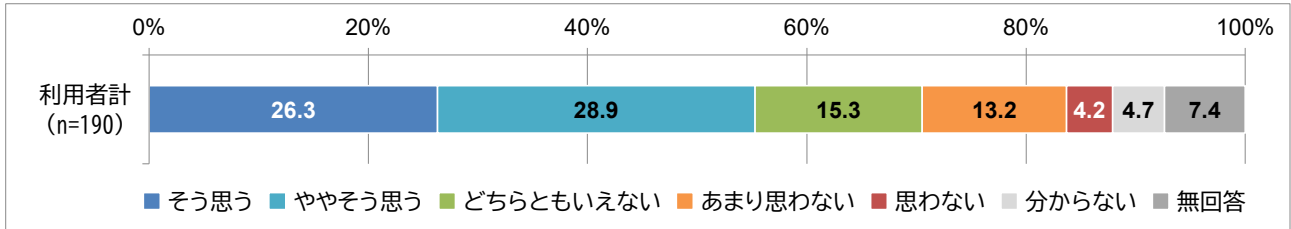
図 ②



③Nーバスの1路線の運行距離や乗車時間を短くするため、利用状況を考慮しながら、遠回りの少ない運行ルートにする方がよい

■賛成割合（「そう思う」＋「ややそう思う」）は55.2%となっていて、反対割合（「あまり思わない」＋「思わない」）の17.4%を上回っている。

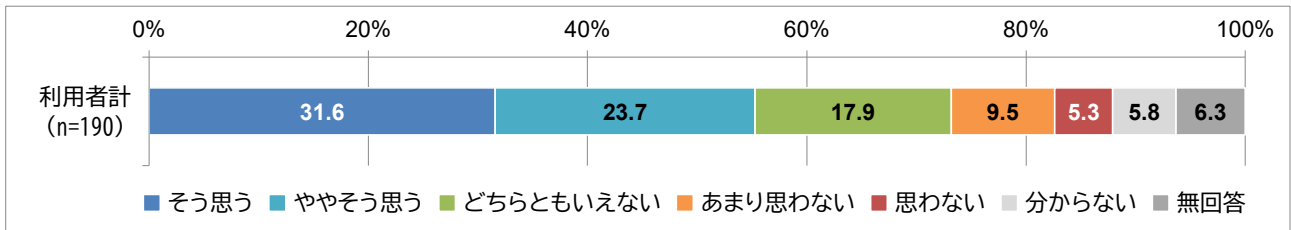
図 ③



④Nーバスの1路線の運行距離や乗車時間が長くなったとしても、目的地の近くにバス停があることを優先する方がよい

■賛成割合（「そう思う」＋「ややそう思う」）は55.3%となっていて、反対割合（「あまり思わない」＋「思わない」）の14.8%を上回っている。

図 ④



自由意見

■「利用促進・PR」が13件で最も多くなっており、次いで「ダイヤ・本数」「ルート」の順となっている。

図 自由意見のカテゴリー

